

ホームページ公表用 事業所における自己評価総括表

○事業所名	どろんこきつず		
○保護者評価実施期間	令和7年11月19日		令和7年11月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28	(回答者数) 23
○従業者評価実施期間	令和7年11月10日		令和7年11月19日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年12月		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	【発達支援】 幼児期に必要な感覚へのアプローチ リハビリ専門プログラムから、個々や集団に合わせた活動プログラムを考案し活動しています。個人の特性、ニーズに合わせてお子様への関わり方の配慮も行っています。活動を通して、お子様が「楽しい」と実感できることや「やってみたい」と意欲につながる体験を提供しています。	自分から取り組み、楽しい気持ちから意欲を引き出し、成長につながっていけるように育んでいます。日々、支援の振り返りを行い、お子様の成長を確認しながら、活動のプログラム調整を行うなど、職員間で共有しています。	お子様自身が遊びの経験を通じて、どんな結果だったのか、次はどうすると出来るのか成功体験から実感できるように、遊びの工夫をアイデアを出し合いながら行っていきます。
2	【家族支援】 お子様の活動の様子を動画で配信するなど活動の様子を分かりやすくお伝えすることで、お子様の成長を確認できる機会を設けています。またノートや送迎時に相談などの時間を設けています。相談内容、状況に合わせて個別懇談の時間も設定しています。入園、就学に向けてのお話や、お家での役割、過ごし方などお話をさせていたいただいています。	ご家族の心配事を中心にお話しできる機会を意識的に設けるようにしています。また、成長する過程で必要に応じて、医療機関などのご案内をするなど地域資源を活用しながら子育てをしていけるようご提案させていただいています。ご家族の支えになるようにスタッフ間で共有し、サポートしていけるように心がけています。	法人内で小学生がいる事業所と行事、茶話会を行っていることで、小学校の情報を知る機会があります。また茶話会を行った時の話の内容を全家庭に配信し子育てのヒントにつながるよう取り組み始めました。次年度も茶話会に参加するご家庭が増える機会を作りながら、子育ての励ましになる設定を考えていきます。
3	【地域連携支援】 保育所等訪問支援と連携 保育園、認定こども園、幼稚園に通われているお子様の園での様子観察、保育士から日常の様子の聞き取り、また相談対応、アドバイス、情報共有などをさせていただいています。	お子様が通われている園に定期的訪問希望のご家庭様、または園からの要望には保育所等訪問支援、一年に一度ほど見学に伺ってほしいご家庭様には関係機関訪問を、適宜行っています。通われている園では担任との情報共有、支援の方向性などについてお話ししています。	調整会議や事業所間連携会議など各事業所の役割分担や支援の方向性の確認、情報共有を行い、地域でお子様を支えていけるように連携を図っていきたく考えています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	【発達支援】 お友だちの話を聞いて考え、イメージを共有することやそのイメージを具現化する活動をプログラムに取り入れることが難しい時があります。	話しを聞いて考えながらイメージをふくらましていく過程、段階付けが難しい時は、視覚的な情報の提示を行う機会が少ないように感じます。	見て言葉とつなげる機会を増やしていくことで、イメージを共有できることを増やしていきたいと思えます。友達とイメージを共有出来ることでコミュニケーションの幅を増やし、友達と一緒に楽しむことにつながるような設定を取り入れていきます。
2	【家族支援】 お子さまが成長する過程にある背景や、今後の育ちへのイメージを共有することが難しい時があります。	お子さまの成長の過程に何か必要か話す際、保護者様が共通のイメージを持てるようにお伝えする為の知識や工夫が足りないと感じることがあります。	図や絵表など目で見て分かりやすいものを取り入れながら説明する工夫など、その先の成長の過程で必要な事を伝えながら、保護者様の理解につながるように考慮していきます。
3	【地域連携支援】 園の送迎時の引継ぎ、保護者様から他に利用しているディでの様子を聞く機会がありますが、保護者様、通われている園からの要望だけでなく、利用しているお子様全員の園やディでの様子を拝見することが厳しい状況でした。	情報共有に向けて、見通しをもった計画を立てて、実行するためにはどうするといのか、人員を増やし明確にするまでに至っていないことが課題です。	情報共有に向けて共有の機会を設ける。支援の方向性を共有しながら、通われている園やディと連携を図る体制作り、仕組みづくりを考えていきたいと思えます。

ホームページ公表用 事業所における自己評価結果

事業所名	どろんこきっず				公表日	令和8年1月
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	●			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	●			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	●		目で見てここに何を置かかなど、子どもたちが分かりやすく、行動しやすいように工夫しています。視覚情報の活用や環境調整を行い、できる限り見通しの持ちやすい環境設定を心掛けています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	●			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	●			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	●		新たなPDCAサイクルを構築し、朝礼、夕礼で取り組むことにより振り返りや分析が行いやすくなっています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	●			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	●		・前年度の行事反省を今年度に反映するなど経験を活かしています。 ・効率よく、かつ今後の質に繋がっていくか、内容の修正、改善をしています。	業務内容の役割分担や最適化を今後も行い、支援の向上や業務改善につなげていきます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	●		地区児童発達支援センターから地域巡回の際に、評価をいただいています。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	●		・自事業所、法人内研修、また地域で行われている勉強会に参加しています。 ・事業所スタッフが同じ研修に参加することで、支援のイメージや方向性を共有できる研修の機会をつくっています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	●		どろんこホームページ上で公表されています。また新規契約時の際に支援プログラムの説明を行っています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	●			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	●			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	●			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	●		リハビリ職による専門的支援や太田ステージを導入したコミュニケーション能力評価を用い、確認しています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえ	●		日々の活動の中にねらい、支援内容があり、日誌や活動の振り返りを行い、成長につながるように設定しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	●		担当支援者だけではなく、臨機応変に変化を入れて、活動内容を充実させています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	●		子どもの特性や、季節のイベントも取り入れながら、毎週様々なプログラムが組まれています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	●		集団活動の中で状況に応じて、個別に関わる時があります。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	●		ミーティングで翌週の活動内容など、職員間で共有しています。	活動の振り返りから修正、改善する点を共有しながら、遊びと制作の内容を設定していきます。

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	●		支援終了後に振り返りと反省をしています。また、そこで話し合った内容を次の日の支援に活かしています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	●		記録を記入し、必要に応じてミーティングで情報共有を行っています。共有の中で問題がある時は、その場で改善できるように話し合っています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	●			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	●			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	●		必要がある場合には、保育園等の関係機関と情報共有を行い、連携して支援を進めています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報	●		関係機関調整会議や保育所等訪問支援を行うなど、支援の方向性や情報共有と相互理解につながる機会を設けています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	●		就学に向けた引継ぎ書を作成し、小学校への提出をご家庭にお願いしています。また、必要に応じて就学時前見学時に書面を作成し、ご家庭、小学校へお渡ししています。	必要に応じ保護者様と一緒に学校見学に行き、お子様の情報を伝える機会を行いたいと考えています。
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	●		必要に応じて児童発達支援センターの地域巡回の方に助言をいただいています。	
保護者への説明等	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	●		公園活動などで地域の子どもたちと活動場所を共有する場面があります。	公園などで地域の子と関わる時は、その場にいらっしゃる保護者の了承を得てから一緒に遊ぶなど配慮をしていきます。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	●			
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	●		家族支援としてご家族に合わせて対応しています。ご家族の希望や状況に合わせて、参加しやすい研修や学びの情報をお届けしています。	ご家族様に合わせて今後も情報をお伝えしていきます。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	●		・利用契約時やその都度必要に応じ、ご説明をさせていただきます。 ・支援プログラムを説明する際は、初回の支援計画の話をし、支援の方向性も一緒に説明しています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	●			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	●			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	●			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	●		・茶話会では保護者の方が気軽にお話しできるよう、お母さん同士・お父さん同士で安心して話せる時間も設け、交流の場を作っています。また、きょうだい児の利用についても、できるだけ受け入れられるようにしています。これからも、保護者の皆さまがつながりを持てる機会を大切にしていきたいと考えています。 ・全家庭に茶話会の話合いの内容を周知することで、子育ての情報としてお伝えしています。また、お便りにも茶話会をしたことを載せることで、参加者を増やしていくことを目的とし、子育ての悩みなどを気軽に話し合える機会を設けていきたいと考えています。	茶話会の話合いの内容を周知していくことで興味を持ってもらい、気軽に参加してもらえる方法を考えていきます。

	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	●				
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	●		毎月のお便りで、子どもたちの活動の様子をお伝えしています。また、今年からは新しい取り組みとして、活動の様子を動画でもご覧いただけるようにしています。ご家庭でも、子どもたちの姿を少しでも身近に感じていただけたら嬉しいと思います。		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	●				
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	●		ご家族の状況や気持ちに寄り添い、必要に応じて意思疎通に配慮しています。		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	●				
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	●				
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	●				
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	●			必要に応じて、お子さまの服薬の変更や服薬情報を確認しています。今後は、すぐに確認できる一覧表を作成するなど、改善していきます。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	●				
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	●				
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	●				
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	●		職員ミーティングで共有し、再発防止のための方策も一緒に記入し、内容を検討しています。また、法人委員会でも他事業所のヒヤリハットを共有し、検討しています。		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	●		法人内に虐待防止委員会を設置し、委員会を開催するほか、研修会も行っています。		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	●		契約時に説明し同意をもらっています。		

ホームページ公表用 保護者等からの事業所評価集計

事業所名		どろんこきっず				公表日	令和8年1月		
		利用児童数				28	回収数		23
		チェック項目				ご意見	ご意見を踏まえた対応		
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない				
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	21	1	0	1			
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	22	0	0	1			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	18	2	0	3	視覚情報の活用や環境調整を行い、できる限り見通しを持ちやすい環境設定を心掛けています。目で見て「どこに何を置くか」が分かるようにするなど、お子さまが理解しやすく、行動しやすい工夫をしています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	22	0	0	1			
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	23	0	0	0	特性も様々だと思うので、特性に応じた個別の時間があるとより良いと思います。	集団活動の中で子どもの特性に合わせて、必要に応じて、個別に関わり支援を行っています。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	23	0	0	0		支援プログラムに基づき、5領域を意識した活動を行っています。	
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	23	0	0	0	どれもされています！すごく助かります。	ご家族のお子さまの成長への願いを共有し発達の現状と共有を行い、支援計画を作成しています。	
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	22	1	0	0		支援の役割分担を明確にしながら支援内容を考えています。日々の活動の中になら、支援内容があり、日誌や活動の振り返りを行い、成長につながるよう設定しています。	
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	23	0	0	0			
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	21	1	0	1		子どもの特性に配慮し、季節のイベントも取り入れながら、毎週多様なプログラムを実施しています。	
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	14	0	1	8		公園活動などで地域の子どもたちと活動場所を共有する場面があります。公園などで地域の子と関わる時は、楽しさを共有できるようにしていきます。	
保護者 への 説明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	23	0	0	0		契約時、初めて児童発達支援を利用される保護者様には、言葉のみではなく、写真や図なども用いて伝えていきます。	
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	23	0	0	0			
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	18	1	0	4	・ペアトレはありませんが、茶話会があります。 ・参加した事ないので内容わかりません。	ご家族様の希望や状況に合わせて、参加しやすい研修や学びの情報をお届けしています。	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	23	0	0	0	・連絡ノートで状況を伝えあっています。 ・こまめなノートの記入があります。 ・送迎時やノートで詳しく伝えて下さるので助かります。	送迎時や連絡ノートを通してお子さまの様子を共有する機会を設けることで、ご家族様との共通理解につながり、お子さまの成長を支えています。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	22	1	0	0	・年に1.2回面談・参観があります。	お子さまの成長やご家庭の状況に合わせた面談方法を取り入れています。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	23	0	0	0	・相談などに対しても丁寧に対応して向き合ってくださいるのでとても心強いです。	ご家族様の思いを受け止めながら、お子様の成長と一緒に育んでいきます。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	21	1	0	1	・参加したことはないです。 ・親、きょうだい参加できるイベントの回数を増やしてほしい。	茶話会では、お母さん同士・お父さん同士が安心して話せるよう、保護者様同士でゆっくり交流できる時間を設けています。きょうだい児の利用についても、可能な範囲で受け入れを行っています。また、茶話会で出た子育てに関する話題を全ご家庭に共有し、日々の子育ての参考にさせていただければと思っています。今後も、ご家族同士がつながれる機会を大切にしていきます。	
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	22	0	0	1	LINEの返信は適切なレスポンスだと思います。		

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	21	0	1	1	ご家族と円滑に情報共有できる体制を整えていきたいと考えます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	23	0	0	0	LINEの動画はとても良いと思います。家族で楽しく見て子ども達に感想や説明を聞く機会になってます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	23	0	0	0	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	20	0	0	2	不審者訓練はした事あるのは、聞いたことがあります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	22	0	0	1	法人内に防災に関する委員会を設置し、各事業所で防災に関する取組を行っています。また、避難訓練を実施する際には、あらかじめ保護者様へご連絡を行い、訓練後はお便りにてその様子をお伝えしています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	21	0	0	2	利用契約時の重要事項説明の際にお伝えしています。これからも安全の確保に十分に配慮しながら支援に努めていきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	23	0	0	0	状況に応じて迅速に対応しています。また、事案が発生した際には、どのような状況で起き、どのような対応を行ったのかを詳しくご説明しています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	23	0	0	0	安心して楽しく過ごせる環境を、今後も整えていきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	21	2	0	0	たまに「今日どろんこだよ!」と言うと「行きたくない」と言われる時もありますが、基本楽しみにしてそうです。
	29	事業所の支援に満足していますか。	23	0	0	0	今後も、お子さまの成長に必要な経験を提供できるよう、職員一同努めてまいります。今後ともよろしくお願いたします。